

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(7/10)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
みえライフイノベーション総合特区 (三重県)	3.7	3.8 進捗度 ・統合型医療情報データベースの活用 0% ・ヘルスケア分野の製品・サービスの増加 112% ・ヘルスケア産業の振興 265% ・ヘルスケア分野企業(第2創業含む)及び研究機関の立地件数(累計) 121%	3.4 規制の特例等 ・健康増進に資する機能性食品の効能効果の表示・広告の実施 財政支援等 ・総合特区支援助利子補給金等 地域独自の取組 ・医療情報利活用推進事業費補助金 ・みえ経営向上支援資金等	3.8	<p>・研究開発支援拠点「みえライフイノベーション推進センター」の設置や財政的援助により、企業参入や製品開発、雇用創出に着実に成果がでていいる。県レベルでの企業振興支援との連携においても着実に成果を生み出している。</p> <p>・県民の5分の1にあたる42万人をカバーする統合型医療情報データベースの構築は特記すべき成果である。医療情報データベースについては全国で類似のものが広がっており、得意分野やサービス内容など差別化が必要だと考えられる。これを政策、研究、製品開発に活用した成果が期待される。</p> <p>・ヘルスケアに関わる人材雇用を促進するような施策も考慮する必要があるのではないかな。</p> <p>・「特区」でなければ実現できない新たな視点の取組がないか、再検討してみても良い。</p>